

# 令和 5 年度当初予算・令和 4 年度 2 月補正予算重点事項説明資料

教 育 委 員 会

教育委員会 令和5年度当初予算・令和4年度2月補正予算(案)の概要

(単位：千円)

		16か月予算				16か月予算(今回提案)				比較			
		令和3年度	令和3年度	令和4年度	合計	令和4年度	令和4年度	令和5年度	合計	16か月予算		当初予算	
		12月補正予算額	2月補正予算額	当初予算額		12月補正予算額	2月補正予算額	当初予算額		増減	伸率	増減	伸率
		(経済対策) A	(経済対策) B	C	D	(経済対策) E	(経済対策) F	G	H	(H-D)	H/D (%)	(G-C)	G/C (%)
		(A+B+C)	(E+F+G)										
教育委員会 所管予算額	予算総額	1,570,171	472,461	257,169,202	259,211,834	2,596,509	47,525	254,848,210	257,492,244	△ 1,719,590	99.3%	△ 2,320,992	99.1%
	① 人件費	0%	0.0%	83.8%	83.1%	0.0%	0.0%	82.3%	81.4%	△ 5,879,702	97.3%	△ 5,879,702	97.3%
	② 学校整備費	70.7%	88.7%	6.1%	6.7%	82.1%	0.0%	7.8%	8.6%	4,809,616	127.9%	4,208,869	126.8%
	③ その他	29.3%	11.3%	10.1%	10.2%	17.9%	100.0%	9.9%	10.0%	△ 649,504	97.5%	△ 650,159	97.5%

上段%は、教育委員会所管予算総額を100とした場合の「①人件費」、「②学校整備費」、「③その他」の構成比である。

## 令和5年度当初予算編成に伴う重点施策

(単位：千円)

課名	科目			新規 継続	重点施策 事項名	予算額	前年度 予算額	事業の概要
	款	項	目					
高校教育課	10	1	4	新規	次代の人材育成 に向けた高校教育 DX推進費	248,847	223,232	<p><b>1 事業目的</b> 地域・学校間格差なく生徒の特性を伸ばし、苦手を克服する指導体制を整え、誰一人取り残すことのない教育を実現するため、データに基づく学び方・教え方改革を推進するとともに、1人1台端末を効果的に活用する支援体制の充実を図る。</p> <p><b>2 事業内容</b></p> <p>(1) <b>1人1台端末を使った学校横断型教育プログラムの実施</b> <span style="float: right;">3,046</span>                      [対象] 全県立高校                      [内容]                      ・国内外の大学による特別講義                      ・難関大学等の指導に長けた教員による夏期講習                      ・公務員試験や民間就職面接等の対策、指導                      ・不登校生徒等へのオンライン学習環境の提供 ほか</p> <p>(2) <b>データ分析による生徒の学び方・教員の教え方改革</b> <span style="float: right;">24,041</span>                      [対象] 全県立中学・高校                      [内容]                      ・学校ごとに生徒の学習データを分析し、特性・苦手傾向を把握                      ・各学校の強み・課題を分析し、個別指導や授業改善を実施                      ・デジタル採点分析システムを活用した採点業務の効率化により教員の業務負担を軽減</p> <p>(3) <b>教育DXを支える技術的支援体制の充実</b> <span style="float: right;">221,760</span>                      [対象] 全県立学校                      [内容]                      ・ICT支援員の派遣(30名)、ヘルプデスク等による運営支援業務</p>

令和5年度当初予算編成に伴う重点施策

(単位：千円)

課名	科目			新規 継続	重点 施策 項目 名	予算額	前年度 予算額	事業の概要															
	款	項	目																				
高校教育課	10	1	4	新規	「福岡から世界へ」人材育成プロジェクト費	38,270	0	<p><b>1 事業目的</b> 未来を担う高校生が海外に目を向ける契機となるよう、短期留学研修プログラムを実施し、将来、世界で活躍する人材を育成する。</p> <p><b>2 事業内容</b> <b>(1) 海外留学の実施</b> <span style="float: right;">38,036</span> [対象] 高校生（私立含む）55名程度</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>シリコンバレーコース(2週間程度)</th> <th>海外就業体験コース(1週間程度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修内容</td> <td>海外の企業や大学等でハイレベルな研修を受け、最先端の知識・技術を学ぶ。</td> <td>県人会の協力を得ながら海外企業（現地法人・海外支店等）における職場体験等を実施する。</td> </tr> <tr> <td>研修先・テーマ(案)</td> <td>① 米国（サンフランシスコ） ・大学（スタンフォード大学等）や企業（Apple本社等）と連携したハイレベル研修</td> <td>① 米国（ハワイ） ・観光ビジネスに関する職場体験 ・ワンヘルスに関わる学習 等 ② オーストラリア（ニューサウスウェールズ） ・農業（小麦生産・畜産等）の実習 等 ③ シンガポール ・飲食業に関わる職場体験 等</td> </tr> <tr> <td>選考基準</td> <td>・将来、国際社会の持続的発展をリードする人材となる素養をもつものとして校長が推薦する生徒 ・【英語力】CEFR B1レベル（実用英語技能検定2～準1級相当）程度以上（目安）</td> <td>・キャリア教育の一環として活用することを念頭に、学校教育活動（授業、部活動、生徒会活動、ボランティア活動等）に意欲的に取り組んでいるものとして校長が推薦する生徒 ・【英語力】問わない</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>10名</td> <td>15名×3プログラム</td> </tr> </tbody> </table> <p>※研修先については、外務省が発表する国・地域の危険情報（感染症危険情報を含む）によって、変更する可能性がある。</p> <p><b>(2) 事前指導</b> <span style="float: right;">0</span> ・1人1台端末を活用したオンラインでの事前学習を実施（全4回）</p> <p><b>(3) 事後報告</b> <span style="float: right;">234</span> ・留学後に留学体験報告会・交流会を開催 ・活動報告のリーフレットを作成し、県内高校に配布</p>		シリコンバレーコース(2週間程度)	海外就業体験コース(1週間程度)	研修内容	海外の企業や大学等でハイレベルな研修を受け、最先端の知識・技術を学ぶ。	県人会の協力を得ながら海外企業（現地法人・海外支店等）における職場体験等を実施する。	研修先・テーマ(案)	① 米国（サンフランシスコ） ・大学（スタンフォード大学等）や企業（Apple本社等）と連携したハイレベル研修	① 米国（ハワイ） ・観光ビジネスに関する職場体験 ・ワンヘルスに関わる学習 等 ② オーストラリア（ニューサウスウェールズ） ・農業（小麦生産・畜産等）の実習 等 ③ シンガポール ・飲食業に関わる職場体験 等	選考基準	・将来、国際社会の持続的発展をリードする人材となる素養をもつものとして校長が推薦する生徒 ・【英語力】CEFR B1レベル（実用英語技能検定2～準1級相当）程度以上（目安）	・キャリア教育の一環として活用することを念頭に、学校教育活動（授業、部活動、生徒会活動、ボランティア活動等）に意欲的に取り組んでいるものとして校長が推薦する生徒 ・【英語力】問わない	参加人数	10名	15名×3プログラム
	シリコンバレーコース(2週間程度)	海外就業体験コース(1週間程度)																					
研修内容	海外の企業や大学等でハイレベルな研修を受け、最先端の知識・技術を学ぶ。	県人会の協力を得ながら海外企業（現地法人・海外支店等）における職場体験等を実施する。																					
研修先・テーマ(案)	① 米国（サンフランシスコ） ・大学（スタンフォード大学等）や企業（Apple本社等）と連携したハイレベル研修	① 米国（ハワイ） ・観光ビジネスに関する職場体験 ・ワンヘルスに関わる学習 等 ② オーストラリア（ニューサウスウェールズ） ・農業（小麦生産・畜産等）の実習 等 ③ シンガポール ・飲食業に関わる職場体験 等																					
選考基準	・将来、国際社会の持続的発展をリードする人材となる素養をもつものとして校長が推薦する生徒 ・【英語力】CEFR B1レベル（実用英語技能検定2～準1級相当）程度以上（目安）	・キャリア教育の一環として活用することを念頭に、学校教育活動（授業、部活動、生徒会活動、ボランティア活動等）に意欲的に取り組んでいるものとして校長が推薦する生徒 ・【英語力】問わない																					
参加人数	10名	15名×3プログラム																					

令和5年度当初予算編成に伴う重点施策

(単位：千円)

課名	科目			新規 継続	重点施策 事項名	予算額	前年度 予算額	事業の概要
	款	項	目					
特別支援 教育課	10 10	1 5	4 2	一部 新規	特別支援教育 体制整備費	40,970	20,574	<p><b>1 事業目的</b> 特別支援教育支援員の配置など障がいのある生徒に対する合理的配慮の提供やインクルーシブ教育システムのさらなる推進を図る。 また、特別支援学校における障がいのある児童の体力の向上及び健康の保持増進を図る。</p> <p><b>2 事業内容</b></p> <p>(1) <b>新</b> インクルーシブ教育システム推進協議会の設置 <span style="float:right">143</span> 特別支援教育支援員の配置やインクルーシブ教育システムについて、専門家からの助言を基に協議する場を設置</p> <p>(2) <b>特別支援教育支援員の配置と活用</b> <span style="float:right">36,251</span> 移動や食事などの介助や学習支援が必要な生徒の増加に対応するため、県立高等学校等の特別支援教育支援員の配置人数を拡充 [配置人数] 介助：11名 (R4：5名) 学習支援：3名 (R4：3名)</p> <p>(3) <b>新</b> 県立特別支援学校におけるケア・トランポリンの活用 <span style="float:right">4,576</span>  <ul style="list-style-type: none"> <li>県立特別支援学校小学部にケア・トランポリンを配備し、体育や自立活動等において活用</li> <li>インストラクターを招いたケア・トランポリン教室を開催 [実施校] 小学部を有する県立特別支援学校16校 [実施回数] 年10回 (月1回 (8月、3月を除く。))</li> </ul> </p>
								

令和5年度当初予算編成に伴う重点施策

(単位：千円)

課名	科目			新規 継続	重点施策 事項名	予算額	前年度 予算額	事業の概要
	款	項	目					
体育 スポーツ 健康課  高校教育課  義務教育課	10	7	2	一部 新規	福岡県部活動 改革推進費	87,350	30,302	<p><b>1 事業目的</b> 子どもたちが継続してスポーツ及び文化・芸術活動に親しむことができるようにするため、公立中学校の休日における部活動の段階的な地域移行や学校の働き方改革を総合的に推進する。</p> <p><b>2 事業内容</b></p> <p>(1) <b>福岡県部活動改革協議会の開催</b> 4,987 ・福岡県部活動改革協議会を開催し、部活動の今後の方向性等を検討 ・市町村が行う協議会の開催を支援</p> <p>(2) <b>部活動の地域移行に係る説明会の実施</b> 5,703 ・県主催の部活動改革セミナーを実施 ・市町村が行う部活動の地域移行に関する説明会を支援</p> <p>(3) <b>①部活動の地域移行に向けた実証事業の実施</b> 25,150 部活動の地域移行に向けた、運営団体の整備等に関する実証事業を実施 [対象地域] 5市町村（政令市を除く）</p> <p>(4) <b>中学校における部活動指導員の配置支援</b> 42,075 市町村が行う部活動指導員の配置を支援</p> <p>(5) <b>①スポーツ協会における部活動改革の推進を支援</b> 9,435 関係競技団体等との部活動改革の推進に向けた施策を支援</p>

令和5年度当初予算編成に伴う重点施策

(単位：千円)

課名	科目			新規 継続	重点施策 事項名	予算額	前年度 予算額	事業の概要
	款	項	目					
文化財課	10	6	3	一部 新規	古代日本の 「西の都」 魅力発信費	26,120	31,469	<p><b>1 事業目的</b> 日本遺産「古代日本の『西の都』」の魅力を国内外に発信し、広く知ってもらうとともに、福岡県の歴史や文化財への関心を抱けるような機会を提供し、文化財を大切に作る心の育成と地域振興への寄与を図る。</p> <p><b>2 事業内容</b></p> <p>(1) 「西の都」民間人活用事業 <span style="float: right;">474</span>                      ・「西の都」の魅力と活用方策を提案するコーディネーターを任用</p> <p>(2) ①「西の都」魅力発信事業 <span style="float: right;">15,969</span>                      ・日本遺産「西の都」コーナーの設置                      ・解説案内板の設置(11箇所)                      ・サブストーリーのホームページ掲載</p> <p>(3) 「西の都」調査研究・発信事業 <span style="float: right;">9,677</span>                      ・魅力を深める関連文化財の調査研究・映像作成                      ・特別展の開催</p>
<p>&lt;日本遺産「古代日本の『西の都』」&gt;                      ○古代日本の「西の都」とは                      ・およそ1,300年前、筑紫の地に東アジアの防衛や国際交流の拠点として栄えた都。                      ・30の構成文化財があり、主なものとしては大宰府跡や大野城跡、基肄城跡、水城跡がある。                      ○日本遺産としての認定                      ・平成27年 太宰府市単独での認定                      ・令和2年 対象範囲を筑紫地区を中心とした5市2町に広げる追加認定                      (筑紫野市、大野城市、春日市、太宰府市、那珂川市、宇美町、佐賀県基山町)</p>								

令和5年度当初予算編成に伴う重点施策

(単位：千円)

課名	科目			新規 継続	重点施策 事項名	予算額	前年度 予算額	事業の概要
	款	項	目					
体育 健康課	10	7	2	一部 新規	競技力 向上費	43,541	13,319	<p><b>1 事業目的</b> ICTを活用した競技者育成システムや、競技人口が少ない競技の育成環境を構築することで、効果的に競技力を向上し、国内・国外で活躍する福岡県ゆかりの選手を恒常的に輩出する。 令和6年度北部九州インターハイ開催競技において上位入賞を果たすため、競技力の向上を図る。</p> <p><b>2 事業内容</b></p> <p>(1) <b>新</b>ICTを活用した競技者育成システムの構築 32,182                      ・各競技団体がICTを活用した強化活動を行うための環境を整備                      ・ICTの活用に関する講習会を実施</p> <p>(2) <b>ナショナルアスリートパスウェイの構築</b> 6,452                      福岡県及び九州各県から選抜された選手に対し、中央競技団体のナショナルコーチ等による高品質な育成プログラムを実施                      [対象競技] 3競技                      アーチェリー、フェンシング、ホッケー</p> <p>(3) <b>新</b>北部九州インターハイに向けた競技力の向上 4,907                      本県開催競技において、上位入賞を果たすための強化練習会を実施                      [対象競技] 7競技                      陸上競技、体操（体操競技・新体操）、バスケットボール                      ハンドボール、登山、自転車（トラック種目）</p>
<p>[参考] 令和6年度全国高等学校総合体育大会開催準備費 62,113</p> <p>(1) 福岡県実行委員会の運営 57,206                      (2) 北部九州インターハイ競技力向上事業 4,907</p>								

令和5年度当初予算編成に伴う重点施策

(単位：千円)

課名	科目			新規 継続	重点施策 事項名	予算額	前年度 予算額	事業の概要
	款	項	目					
社会教育課	10	6	1	新規	読書好きを育む 環境づくり応援 事業費	5,840	0	<p><b>1 事業目的</b> 発達段階に応じた多様で特色ある読書活動の取組を支援することで、「読書が好きな子ども」が育まれる環境づくりを推進する。</p> <p><b>2 事業内容</b></p> <p>(1) 市町村への補助 <span style="float: right;">4,640</span> 乳幼児から中学生までを対象とした読書活動の取組や保護者への啓発等を支援 [補助対象] 指定都市を除く58市町村</p> <p>(2) 子どもたちが主体となる特色ある取組・イベントの実施 <span style="float: right;">600</span> ・読書活動への気運を高め、読書の有用性を啓発するイベントの開催 ・特色ある読書活動の取組の実施</p> <p>(3) 優れた取組の実践発表を行う交流会の実施 <span style="float: right;">600</span> ・効果的な取組の紹介 ・参加者同士の交流、ネットワークづくり</p>

教育委員会 令和4年度2月補正予算(案)の概要

(1)総括表

一般会計

(単位:千円)

款	項	補正前の額 (A)	補正予算額 (B)	財 源 内 訳				補正後の額 (A+B)
				国支出金	県債	その他	一般財源	
10款 教 育 費	1項 教育総務費	38,905,345	0					38,905,345
	2項 小学校費	80,207,310	0					80,207,310
	3項 中学校費	46,385,222	0					46,385,222
	4項 高等学校費	66,630,213	0					66,630,213
	5項 特別支援学校費	23,043,041	5,068				5,068	23,048,109
	6項 社会教育費	3,782,051						3,782,051
	7項 保健体育費	2,387,784	42,457				42,457	2,430,241
	計	261,340,966	47,525	0	0	0	47,525	261,388,491

(2)補正予算の主な内容

歳出予算

(単位:千円)

項目		補正前の額 (A)	補正予算額 (B)	補正後の額 (A+B)	主な内容
増額補正	県立特別支援学校の寄宿舎食支援	4,027	5,068	9,095	・食材費高騰に伴う寄宿舎食費の保護者負担を軽減
	県立学校の給食支援	26,983	42,457	69,440	・食材費高騰に伴う給食費の保護者負担を軽減
	合 計	31,010	47,525	78,535	

繰越明許費

(単位:千円)

款	項	金額
10款 教 育 費	1項 教育総務費	
	2項 小学校費	
	3項 中学校費	
	4項 高等学校費	
	5項 特別支援学校費	5,068
	6項 社会教育費	
	7項 保健体育費	42,457
	計	47,525